



# 2020 OLIVE ニュース 2月

## 月刊紙

3月の予定: 5日 工賃支給 11日 避難訓練 26日 さくら会お茶会

見えない恐怖・慣れてゆく恐怖

2月から新型コロナウイルスが報道されるようになりました。飛沫感染や接触感染が騒がれる中、街中でデマによる買い急ぎが横行するようにもなりました。中でもマスク不足は世界的なようです。ウイルスの感染恐怖が見えない中で情報だけが独り歩きすると、いつしか緊張の糸が途切れそうになり人はパニックになります。

事態の収束の目処もなく専門家や政府にも疲れの色がみえる。世の中、何がおきるか誰も予想は出来ない、何が起きているのか、自分で知る範囲も限られ、そして情報に惑わされ右往左往してしまうのが現実です。たった一つのウイルスが世界を変える威力を持っている、人類は今に慣れてはいけないう事を「コロナ」騒動は警告している。せめて手洗い、消毒、マスクなどせつせとやり続けて自己防御をしていくしかない、そして今回、理事会で法人が決めた措置はいわき市から一人でも感染者が出たら利用者さんを自宅待機にするといった決定です。これが良いか悪いかよりも「命を守る」という一点に尽きる結果です。

理事長 遠藤節子

### 新型コロナウイルス(国の対応)

事業所に対して厚生労働省からは、3月9日までに23回にわたり通達(国の指針)がきています。しかし事業所側に次のことに注意しながら活動してほしいと繰り返すばかりです。

- ①手洗いうがいの徹底
- ②利用者、職員の検温の徹底  
※発熱がある場合には出勤停止
- ③ボランティア、見学者受入の制限

マスクやアルコール消毒液が不足している中で、体の弱い障がい者、高齢者の方に注意して活動して下さいということは、感染の拡大、重症化するリスクが高まります。「感染者が出たので閉鎖します」という対応ではなく、全国一斉に学校を休みにしたことと同じ思い切った方針の転換が今、求められているのではないかと感じています。

### ●新型コロナウイルス情報● あれっ変だなと思った時は!

37.5℃以上の熱が2日以上続くとき  
鼻水、咳が出るとき



かかりつけの病院に電話して相談して下さい

(主治医に症状を伝え、指示に従って下さい)  
※病院に自家用車で行く場合には、全員必ずマスクを付けてください

#### 【特に注意が必要な方】

今回の新型コロナウイルスに関して次の病気を持っている方は特に注意が必要といわれています。

- 糖尿病の方や心臓に持病のある方
- ぜんそくや気管支炎など呼吸器系に持病のある方

**いわき市の相談窓口**  
**帰国者・接触者相談センター**  
**0246-27-8596**

### 新型コロナウイルス(事業所の対応)

新型コロナウイルスへの感染予防、拡大防止に向けた対応を、工房阿列布では3回にわたりご家庭などへ協力要請を行い実施致しました。皆様のご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。

- (第1報) 令和2年2月28日 全国的な感染拡大を受け、3月の予定変更、休業に関する事前連絡
- (第2報) 令和2年3月3日 学校の一斉休校を受け、時間短縮営業、土曜日休業を要請
- (第3報) 令和2年3月9日 いわき市内での感染者発生を受け、自宅待機を要請

管理者 佐藤 央庸